

みずほCustomer Desk Report 2025/08/13 号(As of 2025/08/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	148.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	148.17	1.1616	172.19	1.3437	0.6513
SYD-NY High	148.63	1.1697	172.85	1.3522	0.6540
SYD-NY Low	147.59	1.1599	172.13	1.3421	0.6483
NY 5:00 PM	147.85	1.1673	172.59	1.3501	0.6529
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,458.61	483.52	日本2年債	0.7700%	0.0000%
NASDAQ	21,681.90	296.50	日本10年債	1.5000%	0.0100%
S&P	6,445.76	72.31	米国2年債	3.7319%	▲0.0324%
日経平均	42,718.17	897.69	米国5年債	3.8199%	▲0.0122%
TOPIX	3,066.37	42.16	米国10年債	4.2878%	0.0097%
シコ日経先物	43,295.00	970.00	独10年債	2.7421%	0.0463%
ロンドンFT	9,147.81	18.10	英10年債	4.6260%	0.0630%
DAX	24,024.78	▲ 56.56	豪10年債	4.2470%	▲0.0060%
ハンセン指数	24,969.68	62.87	USDJPY 1M Vol	8.88%	▲0.20%
上海総合	3,665.92	18.37	USDJPY 3M Vol	9.54%	▲0.07%
NY金	3,399.00	▲ 5.70	USDJPY 6M Vol	9.59%	▲0.06%
WTI	63.17	▲ 0.79	USDJPY 1M 25RR	▲1.00%	Yen Call Over
CRB指数	295.36	▲ 0.32	EURJPY 3M Vol	8.12%	▲0.10%
ドルインデックス	98.10	▲ 0.42	EURJPY 6M Vol	8.51%	▲0.17%

東京	東京時間のドル円は148.17レベルでスタート。米中関税期限の延長やウクライナ停戦に対する期待感から、市場はリスクオンムード色となる中、ドル円は底堅く推移し、一時148.45まで上昇。その後、中国が米半導体大手の製品の使用を抑えるように求めたとのHLが受け、流れは一転。日経平均の反落と伴にドル円も下押される展開となると、結局148.29レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.29レベルでオープン。午後に米7月CPIを抑え、様子見ムードで上下し、結局148.42レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3433レベルでオープン。英6月雇用統計が発表されるも、ミックスな内容となり市場への影響は軽微。結局、1.3458レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は148.42レベルでオープン。米7月CPI(前月比)が予想程加速していなかった事を受け、次回会合での利下げ観測が強まり、米金利の低下を背景に147.59まで下落。午後は147.70付近を中心とした推移が続き、その後147.85レベルでクロス。一方、ユーロドルは先述の米7月CPIの結果を受けたドル売り地合いを背景に、1.1697まで上伸する底堅い推移。午後は小幅反落し、1.1660付近まで反落し、その後1.1673レベルでクロス。

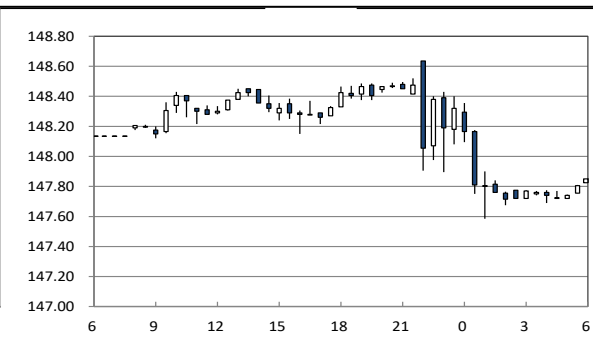
国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の指標等】

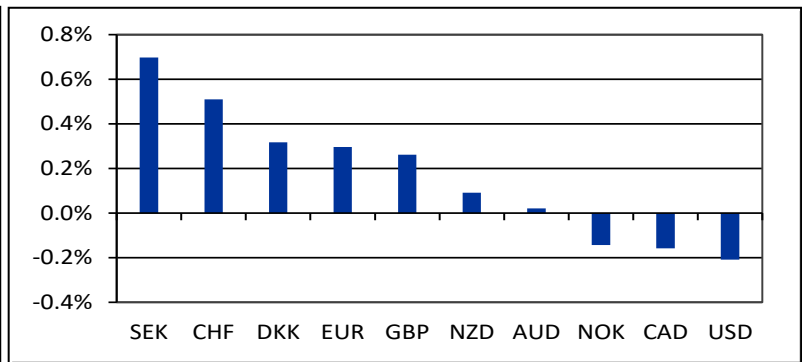
Date	Time	Event		結果	予想
8月12日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	12-Aug	3.60%	3.60%
	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	6月	5.0%	5.0%
	18:00	独 ZEW景気期待/調査現状指数	8月	34.7/-68.6	39.5/-67.0
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月	25.1	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	7月	0.2%/2.7%	0.2%/2.8%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	7月	0.3%/3.0%	0.3%/3.1%

Date	Time	Event		予想	前回
8月13日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	7月	0.3%/2.0%	0.3%/2.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-148.60	1.1600-1.1750	171.50-173.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間、米中関税期限の延長や株高を背景としたリスクオンムードからドル円は底堅い推移となり148.45円まで上昇。その後は米国時間に発表された米7月CPIの結果がほぼ事前予想通りの結果となったことを受けて9月FOMCによる利下げがほぼ確実視される形となりドル円は147円台後半まで下落となった。

昨日の米CPIの結果を受けて9月利下げがほぼ確実視されるなか、今後は利下げ幅に焦点が集まる状況。今週発表される米7月PPIや米7月小売売上高の結果を見つつ来週末のジャクソンホールでのパウエル議長の発言を見極めたい展開。ただし、本日は特段の経済指標の発表を抑えておらず本邦実需勢の参加者が少ない中、本日のドル円は方向感の乏しい値動きになると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。